

報道関係各位

令和5年7月20日
ヤマタホールディングス株式会社

「TeamYAMATA」 スポ GOMI ワールドカップ鳥取県予選に参戦 ペットボトル1本分の差に泣き表彰台を逃す 一回りベンジを固く誓う

2023年7月15日(土)に開催された、ごみ拾いとスポーツを融合した「スポ GOMI ワールドカップ鳥取 STAGE」にヤマタグループの社員3名が出場しました。鳥取 STAGE には計23チーム、69名が参加。気温37度の中、鳥取駅北側エリアで繰り広げられた1時間の熱戦の結果、60.34kgのごみが集まりました。

「スポ GOMI」は、参加者がスポーツ感覚で街のごみを拾う、地球に最も優しいスポーツです。世界的に深刻化している海洋ごみ問題の解決、環境問題の意識を高め、持続可能な社会の実現を目指しています。

現在、世界21か国で予選が開催されており、今年11月に初の世界大会が東京都で開催されます。今回鳥取 STAGE に出場した3名は、広報と総務・HRユニットの部署に所属している仲良し3人。鳥取 STAGE の案内を受け「これなら日本代表になれるかも」と参加を決意。

「TeamYAMATA」の結果は747ポイントで第4位。10ポイント差で表彰台を逃した





開会式で選手宣誓をする Team YAMATA

■ チームコメント

「優勝したら東京に行ける！」という軽い気持ちで集まった3人。残念ながら優勝はできませんでしたが、宝探しをするような感覚で楽しめたことが一番よかったです。競技中は捨てる物によって得点が変わるため、ポイントの高いタバコの吸い殻やビニール傘が多く落ちていそうな路地裏やコインパーキングを中心に探しました。タバコや傘、可燃物など合わせて4kg、747ポイントのごみを拾ったものの、最後は10ポイント差（ペットボトル約1本分）で表彰台に上がることができずとても悔しいです。

スポーツなので勝敗がついてしましますが、たった1時間で60kg以上のごみが海に流れずに済んだことは大きな成果だと思います。鳥取はジオパークに指定されているきれいな海があります。街のごみを拾うことがこの海を守ることに繋がると考えると、最後は自分たちの食べる物や暮らしに返ってくることなので、普段から環境を意識した行動が大切だと改めて感じました。

結果はどうかあれ、この大会の価値や意義を一人でも多くの人に伝えることこそが、出場した私たちにできる最重要アクションだと捉えています。次回こそは優勝！そしてヤマタグループから他のメンバーも募り出場したいと思います！

この記事を手にとってくださった皆様、最後までお読みいただき、本当にありがとうございます。もし私たちのこのリリースが皆さんの行動に何かしらの変化をもたらすことができたなら、とても嬉しいです。

■ TeamYAMATA メンバー

宮谷 由佳（チームリーダー）

坂田 千里

河本 博美

【大会概要】

大会名：スポ GOMI ワールドカップ鳥取 STAGE

日程：2023 年 7 月 15 日(土)

開催場所：鳥取駅前北口 ※ごみ拾いエリアは鳥取駅北側

参加人数：1 チーム 3 人×23 組=69 名

拾ったごみの総量：60.34 kg

主催団体：一般財団法人 ソーシャルスポーツイニシアチブ
一般財団法人 海と日本プロジェクト in とっとり

【本件に関するお問合せ】

ヤマタグループ

ヤマタホールディングス株式会社

コーポレートコミュニケーション戦略ユニット

担当：河本 博美

TEL：0857-30-0006

FAX：0857-30-5227

E-mail：info@yamatagr.com

ヤマタグループ HP はこちら



ヤマタグループの SDG s はこちら

